

令和6年度曾於市立財部小学校グランドデザイン

学校教育目標

自らを律し、主体的に学び続ける子供を育てる
校訓 「強く 正しく 明るく」

経営基盤

- 日本国憲法
- 教育基本法
- 学校教育法
- 学校教育法施行規則
- 学習指導要領
- 鹿児島県教育行政施策
- 曾於市教育大綱

経営理念

人権尊重の理念の下、子供一人一人の成長と向き合い、豊かな心を育みながら、将来をよりよく生き抜く力の素地を育む学校を創造する。

めざす子供像

- 主体的に学び、考える子供
- 礼儀正しく、思いやりのある子供
- 体を鍛え、たくましい子供
- ふるさとを知り、ふるさとに学ぶ子供

めざす学校像

- 安心して学べ、笑顔があふれる学校
- 学力定着が図られ、生きる力を育む学校
- 整理整頓が行き届き、美しく落ち着いた学校
- 地域から信頼され、地域に育まれる学校

めざす教師像

- 豊かな人間性と協調性にあふれる教師
- 使命感と職責感に燃え、自己研鑽する教師
- プロ意識をもち、指導を工夫改善する教師
- 地域と協働し、地域のよさを伝える教師

経営の重点課題

- 1 主体的に学び続ける資質を育成するとともに、子供同士の学び合いを大切にし、学力の向上を図る。
- 2 教科道徳を核とした横断的・総合的な指導の充実と自他を大切にする人権教育を推進する。
- 3 生涯にわたる健康づくりの基礎を築き、主体的に体力の向上を推進する。
- 4 学校運営協議会の機能化を図るとともに、家庭や地域と連携し、信頼される学校づくりに努める。

努力点と主な具体策

確かな学力

- 1 学びの質の向上
 - ・実態に合った教材研究
 - ・学習者主体の授業実践
 - ・「ダイヤモンドタイム」の確保と蓄積
 - ・個別最適化に対する工夫
 - ・教科担任制の工夫と充実
 - ・諸調査結果の分析と弱点の克服
- 2 学習への構えの定着
 - ・財部スタンダードの共通実践
 - ・基本的な学習のきまりの実践
 - ・整然とした学習環境
- 3 小・中連携共通実践の徹底
 - ・授業態度五則、机上のルール
 - ・家庭学習の段階的な習慣化
 - ・挙手による発表
 - ・ICT活用
- 4 校内研修の充実
 - ・授業力向上に対する研修の充実
 - ・全員参画の研修推進

豊かな心

- 1 心に届く生徒指導の充実
 - ・いじめ、不登校、問題行動等の未然防止
 - ・早期発見と関係機関との連携
 - ・あいさつの徹底
 - ・心を鍛える清掃活動(教児一体)
 - ・整理整頓、後始末の徹底
 - ・情報モラル・情報リテラシーの育成
- 2 人権同和教育の充実
 - ・人権問題に対する正しい理解と人権意識の高揚
 - ・考え、議論する道徳科の授業実践
 - ・全教育活動を通じた道徳的実践力の育成(社会の中の一員)
- 3 特別支援教育の充実
 - ・個々の教育的ニーズに対する個別支援体制の構築
 - ・計画的な就学指導・教育支援
- 4 読書意欲を高める工夫
 - ・学年推薦図書20冊読破
 - ・朝読書や読み聞かせの工夫

健康な体

- 1 健康教育の推進
 - ・早寝早起き朝ごはんの推進とメディアコントロール
 - ・定期検診結果の把握と早期治療の勧告
 - ・むし歯治療率80%
 - ・学校保健委員会の充実
 - ・歩育の推進(徒歩登下校500m)
- 2 体力の向上
 - ・教科体育の工夫・改善
 - ・体力・運動能力調査の分析と活用
 - ・チャレンジかごしまへの取組
 - ・一校一運動(なわとび)の継続
- 3 食育の充実
 - ・食物アレルギー等の事故防止
 - ・教科や給食指導を通じた指導の充実
- 4 安全指導の充実
 - ・危険予知能力の育成
 - ・教科指導下での安全管理
 - ・校内外での事故防止(指導・点検・連携)